

にこ通

2021.8月
vol.111 あ

最近ではエアコン28度設定で眠りに付き
4時頃目が覚め、エアコンを切って
窓を開けもうちょっと寝る。そんな毎日。
休調はいいです。こ



祖母と母をつなぐ旅 (完結編)

60年前にお参りしたお墓を見つけることができず、数日が経過した7月のある土曜日。
相続に関するご相談でAさんが来店。僕とは初対面でお互いやや緊張の面持ち。
Aさんからひと通りのヒアリングを終え、冷たい麦茶を流し込む。そして和やかな雰囲気。
(あ！たとえばAさん、小矢部にお住まいだな。ダメもとで聞いてみるか…)



「Aさん、ちょっと聞いてみてもいいですか？ 実は…」

- ・家系図作成をキッカケに母の記憶と祖母をつなぐ旅に出かけたこと。
- ・現地調査の結果、を見つけることができなかったこと。 を打ち明けました。

すると、Aさん

「60年も前のことですか〜。流石に難しいかもしれませんね〜。んー、でも…私、小矢部のことをかなり詳しくは知るよ… ちょっと… 心当たり当たってみますね」と言ってくれたのです。

そのまゝ1週間が経過…

「やっぱり無理だな。あれだけ回って分からなかったんだから」と思い始めた頃、一本の電話。

電話の声は少し興奮気味のAさんでした。「勝裕さん、お墓見つかりました!!」

「僕の友人で、蓮沼の歴史にとっても詳しい人がいて、戸籍の情報やお母様の記憶をつなぎ合わせて辿って
いったところ、お墓の場所が分かったんです!! 地元の人でも分かりにくい場所にありました。

勝裕さんのお母さんの記憶、そのままだと思いますよ!!」

そして7月22日(木)母、叔母とふたたび蓮沼へ。

教えてもらった場所に行くと、小高い丘のような所にお墓が3つ。
まさにそこには母の記憶にある60年前の風景が広がっていました。

そのお墓は、祖母の父親の山本本家の墓。そして祖母の父が婿養子
に行、た先の田中家の墓でした。母、叔母は手を合わせながらいろんな想いがこみあげたんじゃないかな。
僕も、おばあちゃんの両親やその上のご先祖さまが眠るお墓に手を合わせ、



60年ぶりのお墓参り。Aさんに感謝です。

「命をリレーしてきてくれてありがとう! おかげでこうして元気に生きています!」と心で伝えました。

今回、僕の目の前に起きたことは奇跡の連続でした。現地調査しても分からなかったものの数日後
Aさんが来店され、話の流れで話してみても、Aさん、小矢部に詳しくて、さらに蓮沼に詳しい方と繋がって…
もしかしたら…おばあちゃんがこのタイミングで導いてくれたのかもしれないね。きっとそうだと思う。こ

これから定期的にお参りに行こうこ

〜 祖母と母をつなぐ旅 完 〜